

重要所見

2020年 再生可能エネルギー 一発電コスト

- 2020年は新型コロナウイルスの世界的流行による影響と感染拡大による混乱が広がった1年となりました。それにもかかわらず、太陽光発電と風力発電の発電コストについては減少傾向が続いています。新規に導入された世界の陸上風力発電の均等化発電原価 (LCOE) の加重平均は2019年比で13%減少、また集光型太陽熱発電 (CSP) は16%、洋上風力発電は9%、大規模太陽光発電 (PV) は7%の減少となっています。

2010年および2020年の総設置費用、設備利用率、均等化発電原価 (LCOE) の技術別の傾向

	総設置費用			設備利用率			均等化発電原価		
	(2020 USD/kW)			(%)			(2020 USD/kWh)		
	2010	2020	増減率	2010	2020	増減率	2010	2020	増減率
バイオマス	2 619	2 543	-3%	72	70	-2%	0.076	0.076	0%
地熱	2 620	4 468	71%	87	83	-5%	0.049	0.071	45%
水力	1 269	1 870	47%	44	46	4%	0.038	0.044	18%
太陽光発電PV	4 731	883	-81%	14	16	17%	0.381	0.057	-85%
集光型太陽熱発電CSP	9 095	4 581	-50%	30	42	40%	0.340	0.108	-68%
陸上風力	1 971	1 355	-31%	27	36	31%	0.089	0.039	-56%
洋上風力	4 706	3 185	-32%	38	40	6%	0.162	0.084	-48%

- 再生可能エネルギーによる発電のコストは、着実な技術の進歩、規模の経済、競争力のあるサプライチェーン、開発企業による経験の蓄積といった理由により、過去10年間で急激に低減しました。大規模な太陽光発電PVの発電費用は、2010年～20年の間に85%減少しています。
- 太陽光発電や風力発電による発電コストも、非常に低い水準まで減少しています。2010年以降、世界で累計644GWの再生可能エネルギー発電設備が、その年の最も安価な化石燃料火力発電の導入費用よりも低コストで導入されたと推測されています。新興国では今年、534GWが化石燃料発電より低コストで導入され、発電コストは最大で320億ドルまで減少する見込みです。
- これらの石炭火力発電所を再生可能エネルギー発電に替えると、年間のシステムコストを320億ドル、CO₂排出量を約3ギガトン削減することができます。
- この総合的な費用調査では、世界中のプロジェクトから得られた費用およびオークション価格データを用いており、再生可能エネルギー分野の主要な技術の最新動向に焦点を当てています。

本重要所見は「*Renewable Power Generation Costs in 2020*」

ISBN:978-92-9260-348-9" (2021) の翻訳です。翻訳と英語の原本の間に矛盾が見られる場合は、英語のテキストが優先されます。

© IRENA 2021

免責条項

本書およびこれに含まれる内容は「現状のまま」提供される。本書に含まれる内容の信頼性を確認するため、IRENAはあらゆる合理的注意を払っている。IRENAも、またそのいかなる職員、代理人、データ提供者、その他の第三者資料提供者も、明示的、暗示的ないかなる保証も行わず、本書またはその内容の使用に関連したいかなる責任も負わない。

本書に含まれる情報は必ずしもIRENAの全加盟国の見解を代表するものとは限らない。特定の企業やプロジェクト、製品に対する言及は、類似の特徴を持つが言及されていない他のものと比較してIRENAがこれを認証または推奨することを意味するものではない。本書で使用している名称や内容の提示方法は、いかなる地方、国、領土、都市、地域、その当局の法的地位、または境界線や国境の画定に関連したIRENA側の見解を表明するものではない。